

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人  
郡山清和救護園

# 令和4年度 法人事業報告

令和4年度は、当法人が、これまで担ってきたセーフティネットとしての役割を果たしつつ、地域社会より求められる多様な福祉ニーズや期待に応えるために、次の事項について努力いたしました。

## ◎基本方針

- ①インクルージョン等の基本的理念の徹底
  - ②地域生活支援への取り組み
  - ③社会貢献への取り組み
- 認定生活困窮者就労訓練事業ならびに  
セーフティネット機能強化事業(にこやかサロン)等の充実
- ④福祉サービスの質の向上と人材育成
  - ⑤法人・施設の健全経営のための基盤づくり

## I. 評議員会の開催

評議員会は(1)(2)について、それぞれご承認をいただきました。

- (1) 令和4年6月15日(水)・第1回
  - 報告・令和3年度 事業報告について
  - 議題・令和3年度 計算書類等及び財産目録の承認について
- (2) 令和4年10月13日(木)・第2回
  - 議題・定款変更について

## II. 理事会の開催

理事会は(1)(2)(3)(4)について、それぞれご承認をいただきました。

- (1) 令和4年5月31日(火)
  - 報告・第6360回 QCサークル全国大会特別企画『JHS(医療・福祉部門)改善事例チャレンジ大会』について
    - ・郡山せいわ園多目的ホール等増築工事の進捗状況について
  - 議題・令和3年度 事業報告承認について
    - ・令和3年度 計算書類等及び財産目録の承認について
    - ・養護老人ホーム 希望ヶ丘ホーム 令和4年度赤い羽根共同募金配分金について
      - ①交付決定について
      - ②指名競争入札の業者選定について
    - ・令和4年度 第1次収入支出補正予算案について
    - ・新評議員案について
    - ・評議員会の日時及び場所並びに議題の決定について
    - ・各種規程関係の一部改正について
      - ①就業規則
        - ・育児休業に関する規則

- ・介護休業に関する規則
- ②障害者総合支援法に基づく「みんなのいえ」(外部サービス利用型共同生活援助)運営規程
- ③希望ヶ丘訪問介護事業所の運営規程ならびに運営規程(介護予防日常生活支援総合事業)
- ・その他
  - ・永年勤続表彰について
  - ・その他

(2) 令和 4 年 10 月 4 日(火)・第 2 回

報告・多目的ホール完成について

- ・理事長・業務執行理事並びにきらきらげんき保育園長よりの、上半期  
(4 月～9 月) 職務執行報告について
- ・令和 4 年度 社会福祉施設等の指導監査について
- ・第 6380 回 QC サークル東北支部総合大会および第 6387 回 QC サークル  
福島地区大会について

議題・令和 4 年度 第 2 次収入支出補正予算案について

- ・各種規程関係の一部改正について

①定款

②育児休業等に関する規則

③就業規則

④給与規則

⑤きらきらげんき保育園給与規則

- ・評議員会の日時及び場所並びに議題の決定について

- ・その他

・令和 4 年度 地籍調査事業について

・その他

(3) 令和 5 年 2 月 17 日(金)・第 3 回(書面決議)

報告・令和 4 年度 社会福祉法人上半期内部監査について

- ・第 32 回「福祉 QC」全国発表大会について
- ・令和 4 年度 セーフティネット機能強化事業の進捗状況について

議題・令和 5 年度 事業計画案の承認について

- ・令和 5 年度 収入支出予算案の承認について

- ・令和 4 年度 第 3 次収入支出補正予算案の承認について

(4) 令和 5 年 3 月 17 日(金)・第 4 回

報告・理事長・業務執行理事並びにきらきらげんき保育園長よりの、下半期(10 月～3 月)

職務執行報告について

- ・第 32 回「福祉 QC」全国発表大会等について

議題・令和 4 年度 第 4 次収入支出補正予算案について

- ・令和 5 年度 法人・施設の組織図案について

- ・社会福祉法人 郡山清和救護園 苦情解決委員会の第三者委員の選任について

- ・評議員選任・解任委員の選任について
- ・セーフティネット機能強化事業連絡会の委員の選任について
- ・新評議員候補について
- ・管理監督者の雇用期間延長について
- ・理事・監事の選考委員会について
- ・各種規程関係の一部改正について
  - ① 給与規則
  - ② 個人情報管理規程
  - ③ 希望ヶ丘訪問介護事業所運営規程
- ・郡山市第九次介護保険事業計画についての対応
- ・その他
  - ① 今後の理事会等の日程について
  - ② その他

### III. 評議員選任・解任委員会の開催

評議員選任・解任委員会は(1)(2)について、それぞれご承認をいただきました。

- (1) 令和4年6月15日(水)  
議題・新評議員の選任について
- (2) 令和5年3月27日(月)  
議題・新評議員の選任について

### IV. 監事会の開催

監事會は(1)(2)の通りそれぞれ開催いたしました。

- (1) 令和4年5月19日(木)・20日(金)・第1回  
令和3年度 法人本部及び施設の事業報告ならびに会計等資金収入支出決算についての、監査の実施。
- (2) 令和4年10月17日(月)・18日(火)・第2回  
令和4年度前期 各施設の事業推進の進捗状況及び会計等についての、監査の実施。

### V. 法人中長期計画検討会

法人中長期計画検討会は(1)(2)(3)(4)の通りについて、それぞれ開催し、今後の課題等について検討しています。

- (1) 令和4年5月27日(金)  
議題・今後の法人役員選任等について
  - ・希望ヶ丘ホームの総合基本計画等について
  - ・その他
- (2) 令和4年7月28日(木)  
報告・法人中長期計画検討会(第1回)の検討内容の確認  
議題・希望ヶ丘ホームの総合基本計画等について
  - ・法人役員人事について(考え方)
  - ・その他

(3) 令和 4 年 12 月 7 日(水)

報告・法人中長期計画検討会(第 2 回)の検討内容の確認  
議題・希望ヶ丘ホーム基本計画についての考え方  
・その他

(4) 令和 5 年 3 月 15 日(水)

報告・法人中長期計画検討会(第 3 回)の検討内容の確認  
議題・郡山市第九次介護保険事業計画についての対応  
・希望ヶ丘ホーム総合基本計画等について  
・その他  
① 法人役員人事について(考え方)  
② その他

## VI. 会議の開催

法人内施設長等会議は次の通り、それぞれ計 5 回開催いたしました。

(1) 法人内施設長等会議

- ① 令和 4 年 7 月 27 日(水) ② 令和 4 年 10 月 7 日(金)  
③ 令和 4 年 11 月 21 日(月) ④ 令和 5 年 1 月 26 日(木)  
⑤ 令和 5 年 3 月 23 日(木) 計 5 回

※なお、4 月・5 月・6 月・8 月・9 月・12 月・2 月は新型コロナウイルス感染症予防により、安全を考えて開催を中止させていただきました。

## VII. 事業の推進

事業の推進 1 から 10 について、それぞれ事業の推進を図りました。

1 第一種 社会福祉事業

- (1) 救護施設 郡山せいわ園の経営  
・救護施設居宅生活訓練事業(休止中)  
・保護施設通所事業の実施  
・保護施設一時入所事業の実施

- (2) 養護老人ホーム 希望ヶ丘ホームの経営

2 第二種 社会福祉事業

- (1) 障害福祉サービス事業の経営  
・グループホーム「みんなのいえ」の経営
- (2) 老人福祉法に基づく老人居宅介護等事業の経営  
・希望ヶ丘訪問介護事業所の経営
- (3) 児童福祉法に基づく小規模保育事業の経営  
・きらきらげんき保育園の経営

3 公益を目的とする事業

- (1) 希望ヶ丘居宅介護支援事業所(休止中)  
(2) 特定施設入居者生活介護の経営  
(3) 認定生活困窮者就労訓練事業の経営

#### 4 社会貢献事業の推進

##### ①中間的就労支援事業について(認定生活困窮者就労訓練事業)

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、実施できませんでしたが、次年度は感染症予防対策に十分に取り組んだ上で実施できるよう計画をしていきます。

##### ② 救護施設等のセーフティネット機能強化事業について

全国救護施設協議会様ならびに福島県様よりの助成にて、地域社会の中でひきこもりや何らかの支援を必要とする方々に対して、「にこやかサロン」を開催し、月3回、希望ヶ丘ホーム(地域交流ホール)にて、新型コロナウイルス感染症予防対策を十分に行いながら実施しました。

また、セーフティネット機能強化事業の連絡会については、令和4年9月21日(水)、令和5年3月24日(金)の計2回地域協力者、法人役職員の皆様にお集まりいただき開催致しました。次年度は、さらなる充実を図り、取り組んでいきたいと思います。

##### <令和4年度「にこやかサロン」事業実績>

実施場所	実施回数	利用延べ人数
希望ヶ丘ホーム (地域交流ホール)	30回	64名

令和5年3月31日現在

#### 5 新型コロナウイルス等感染症予防対策の取り組みについて

新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスによる感染性胃腸炎等の各種感染症の予防のため、全施設および全職員で感染症予防対策等を徹底するとともに、福祉施設としての自覚を持った行動をし、ウイルスを施設に持ち込まないよう最大限努めました。次年度からも感染症予防対策にしっかりと努めて参ります。

#### 6 働きやすい職場づくりをめざして

令和2年度より運用を開始したキャリアパス制度を活かして、法人施設の将来を担う職員の育成に努めました。また、職員の仕事の効率化を図り、仕事内容の見直しなどを行い退勤時間の徹底、夜勤回数などの軽減に努めました。

#### 7 職員研修等の充実

福祉サービスの質の向上と職員育成を目的に「福祉QC」サークル活動に取り組みました。

今年度は、日本科学技術連盟主催 QC サークル全国大会にて養護老人ホーム希望ヶ丘ホームが『審査委員特別賞』を受賞しました。また、QC サークル東海支部 総合・交流会にて『特別賞』を受賞しました。さらに、第32回「福祉QC」全国発表大会において救護施設郡山せいわ園ならびに養護老人ホーム希望ヶ丘ホームが『優秀賞』を受賞する等、日頃のカイゼン活動に対して、全国の皆様方より高い評価をいただきました。

8 防災対策等の充実

東日本大震災および令和元年台風 19 号の教訓を活かして、利用者の皆さんの安心・安全を守るため、災害時等に強い福祉施設を目指し、利用者の皆さんが災害時に避難できる場所の確保や非常食の備蓄を含め防災対策の充実に努めました。

9 救護施設 郡山せいわ園の多目的ホール等増築工事について

郡山市の補助事業にて多目的ホールが完成し、令和 4 年 8 月 30 日に引き渡しを受けました。新型コロナウイルス感染症予防のために、利用者の皆さんの活動の場として大いに活用して参ります。

10 福祉サービス第三者評価の受審準備について

福祉サービス第三者評価の令和 6 年度の受審を目指して、業務マニュアル等の見直しに努めましたが、引き続き受審に向けて準備を進めて参ります。

## 令和4年度 郡山せいわ園 事業報告

本年度も基本理念である“地域のなかで、地域とともに、自分らしくいきいきと”をふまえて、当施設の“利用者の皆さん本位のサービスの提供”と地域の皆さんに“信頼される施設づくり”をテーマに鋭意努力してまいりました。さらに、施設利用者の皆さん及び地域の皆さんに“しあわせ・よろこび・満足”そして、“信頼”をいただける施設経営及び福祉サービスの提供を目指し、次の諸事業を実施いたしました。

### ☆重点事項☆

#### 1 生活自立支援について

本年度も“生活自立と生きがいの確立”を基本目標として、“個別支援計画書”に基づき、利用者の皆さん一人ひとりの意向を尊重して、多様なニーズを踏まえたサービスを提供するために、次のような支援・援助を行いました。

- (1) 利用者の皆さん一人ひとりの能力に応じたグループ別の生活支援(身だしなみ支援・機能訓練等)や作業訓練(畑作業・リースボックス作業等)等を通じて、毎日の生活が元気に送れるよう支援しました。
- (2) 利用者の皆さんの高齢化等による身体機能低下の回復・維持・予防のため、毎日ラジオ体操・歩行運動を実施し、理学療法士の指導によるリハビリを実施しました。
- (3) 虐待防止の取り組みのため、職員のセルフチェックの実施、各地で発生した虐待事例の収集と職員に対しその情報の周知等を行ない、職員自身が支援に向かう姿勢等を見直す機会を設ける事で、虐待防止に対する意識を高めました。
- (4) 心のケアを必要とする方々への支援のため、嘱託医との連携を密に図り支援を行なうと共に、精神保健福祉士や社会福祉士の資格を有する職員等が行なう個別面談（ホットサロン）の実施等を通して、心おだやかに安心した生活が送れるよう努めました。
- (5) 地域交流や各種行事については、新型コロナウイルス感染症予防対応のため、当初の予定を変更し、予定の多くを自粛とさせていただきました。

\*令和4年度に実施した行事は次の通りです。

4月・お花見ドライブ旅行

三春方面(第1班・第2班)

会津若松方面(第3班・第4班・第5班)

磐梯熱海方面(第6班)

5月・端午の節句

・お楽しみ会(第1班・第2班・第3班)

6月 春のドライブ旅行

開成山公園(第1班・第2班)

猪苗代方面（第3班、第4班、第5班、第6班、第7班）

7月・お楽しみ会（第1班・第2班・第3班）

8月・供養祭(お盆)

・お楽しみ会（第1班・第2班・第3班）

9月・敬老会

・供養祭(お彼岸)

・お楽しみ会（第1班・第2班・第3班）

10月・秋のドライブ旅行

郡山市内カルチャーパーク（第1班・第2班・第3班・第4班）

・秋のおやつ会

11月・模擬店お楽しみ会（全4回）

12月・クリスマス会

1月・新年会

2月・節分

3月・ひな祭り

・供養祭（お彼岸）

他に、避難訓練・誕生会・夢喫茶・各クラブ活動等を毎月実施しました。

新型コロナウイルス感染症予防の為、施設内行事を中心に行ない、3密を防ぐため実施時はグループ分けを行ない、少人数で実施しました。

## 2 健康にすごすために

- (1) 利用者の皆さんの定期健康診断（6月・12月）、インフルエンザ予防接種(11月)、新型コロナワクチン接種(8月 第4回目・12月 第5回目)を実施し、また日々の通院管理等を行ない、個人に合わせた健康管理・疾病予防に努めました。
- (2) 利用者の皆さん一人ひとりに健康の大切さを理解していただき、心身ともに充実した日常生活を送れるように身体不調時の早期発見・治療に努めました。
- (3) 嘱託医や協力医療機関等の多職種と連携のもと健康維持に努めました。
- (4) 新型コロナウイルス感染症等の予防対応について随時情報を更新し、利用者の皆さんへ手洗い・消毒・マスクの正しい着用等についての声掛け・支援を行ない、職員は手洗い等のこれらの基本的な感染症予防対策に加え、環境衛生(床や手すり等の定時消毒や換気等)の実施を徹底するように努めました。

## 3 おいしく楽しく食事をするために

“健康でおいしい楽しい食事”を目標とし、献立作成には創意工夫・改善を加え、旬の素材を使用し、行事食を取り入れながら、自然の恵みや四季の変化を利用者の皆さんに食を通して感じ、楽しんでいただきました。

- (1) 安全に食事をするために
- ・日々変化する利用者の皆さんの身体状況を把握し、普通食、一口食、ソフト食、ミキサー食の4通りのきめ細やかな食事形態を準備し、適時食形態が利用者の皆さん個人に合っているかについて管理栄養士・医務・相談員が連携を図り見直し、安全に食事を召し上がっていただけたよう努めました。
  - ・感染症予防及び拡大防止対応のため、利用者の皆さんに2部制で食事を摂っていただくことを継続しました。密にならぬようスペースを確保したテーブルの配置や飛沫防止アクリル板の設置、食堂内の衛生清掃等、感染予防を意識して継続して行ないました。
- (2) 楽しく食事をするために
- ・「おいしい食事をつくる委員会」を通して、利用者の皆さんとの声を献立作成に活かせるように努めました。また9月・3月の2回嗜好調査を実施し、ご利用の方の希望などを取り入れながら献立を工夫し、食事の時間がより楽しくなるように努めました。
  - ・“オーダーメニューの日”や“パンバイキング”等を準備し、日々の食事がより一層楽しくできるように努めました。
- (3) 非常時の食事訓練について
- 非常災害発生時に備え、常に適正な食事が行えるように非常食を確保（5日分）し、管理に努めました。

#### 4 期待される施設をめざして

“利用者の皆さんに・地域社会の多くの人々に信頼される施設づくりを目指して”  
より一層の施設機能充実のために、次の事項に努めました。

- (1) 福祉サービスの質の向上について
- 「お客様に満足を 仕事に喜びを」のテーマのもと、虐待防止委員会やスキルアップ委員会等、活発な各種委員会活動を通して、福祉サービスの質の向上に努めました。
- (2) 災害防止について
- 今年度も火災・地震・水害等様々な非常災害を想定した避難訓練を実施し、利用者の皆さんと職員に対して危機意識の啓発を行ないました。また、防災設備の保守点検や火気取り締まりの徹底を図りました。
- (3) 地域にねざした施設づくり
- 新型コロナウイルス感染症予防のため、地域老人クラブの皆さんや地域小学校の児童の皆さんとの交流、地域公民館主催の文化祭参加は自粛させていただきましたが、本年度も卒園児・卒業生の皆さんへコサージュ等をお届けいたしました。
- (4) 職員の資質向上について
- ・キャリアパス制度※1を運用し、法人施設の将来を担う活力ある職員の育成に努めました。面談等を通して、各個人のキャリアデザインを支援しました。

- ・ジェントルティーチング※2等の理念を基底とし、利用者の皆さんへの質の高い福祉サービスの提供に努めました。
  - ・OJT・Off-JTの活性化を図るとともに、専門的な知識や技術と豊かな人間性を備えた質の高い福祉人材の育成に努めました。
  - ・福島県社会福祉協議会研修センター主催の新任職員研修会や東北地区救護施設研究協議大会等の各種研修会にオンラインを活用し職員が参加しました。
  - ・職員の専門性をより高めるために、職員の国家資格等（社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、介護支援専門員 等）の取得を目指す職員に対して、組織を通して奨励しました。今年度は2名の職員が介護支援専門員の資格を取得しました。
  - ・福祉QC活動を通じ、業務のカイゼンに取り組みました。今年度も、10月に法人内で福祉QC発表会をオンライン形式で実施し、各サークル活動の成果を報告するとともに職員間で意見交換を行ない、QC活動への理解を深めました。
- \*令和4年度のサークル活動は以下の通りです。

① 令和4年9月2日

第6380回（小集団改善活動）福島地区QC発表大会

(主催：QCサークル東北支部 福島地区)

会場：福島県三春町 コミュタン福島 ホール(福島県環境創造センター交流棟)

サークル名：せいわガンバローズ

テーマ：「記録の達人を目指して～正しい情報伝達のために～」 努力賞受賞

② 令和4年11月29日

第32回『福祉QC』全国発表大会

(主催：日本福祉施設士会)

会場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会 5階会議室

サークル名：せいわガンバローズ

テーマ「シクシクことばよ さようなら トレーニング！

～利用者の皆さんのキラキラことば増量計画～』 優秀賞受賞

※1 キャリアパス制度とは

職員一人ひとりが希望と誇り、使命感を持って働き続けることが出来るように、職員の能力・資格・経験に応じた職位、階層等を定めるもの。また、キャリアパス制度を運用することにより、働きやすく働きがいのある職場になることで、質の高いサービスが提供でき、お客様ならびに職員が笑顔になることができる制度。

## ※2 ジェントルティーチングとは

ジェントルとは、やしさや、穏やかなという意味、ティーチングとは、教える、伝えるという意味です。人間は、日常の生活を通してほのぼのとした思いや、やさしい記憶などの良い経験を積み重ねていくことで、ジェントルティーチングの4つの柱“安心と安全”・“人間的な関わりを持つこと”・“信頼されていること”・“信頼すること”をもとに「よりよい人間関係」を築いていくことができるという考え方です。

## (5)保護施設通所事業・保護施設一時入所事業の充実について

利用者の皆さん地域生活移行の推進を積極的に図るため、保護施設通所事業・保護施設一時入所事業の更なる充実に努めました。保護施設一時入所事業は2名の方にご利用いただきました。

## (6) 生活困窮者等の支援推進と社会貢献

(セーフティネット機能強化事業・中間的就労支援事業)

### ・にこやかサロン設置及び運営について

福島県様ならびに全国救護施設協議会様よりの助成にて、地域社会の中でひきこもりや何らかの支援を必要とする方々に対し、安心して参加できる居場所づくりを目指しました。参加者の2名の方は引き続き就労されながら、にこやかサロンに参加されています。また、民生委員等の地域協力者の方々との連絡会や関係機関との情報交換を通して、より一層地域のニーズに応えていけるよう努めました。

### ・中間的就労支援の充実について

生活困窮者等に対し、施設が中間的就労等の機会を提供し、就労に必要な知識及び能力の向上を目指してきましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症予防のため実施できませんでした。今後は、感染状況をふまえて実施を検討いたします。

## (7) ホームページ等による情報提供及び事業紹介に努め、施設の活動内容等を

発信し、地域社会の多くの方々に郡山せいわ園を理解いただくように努めました。3月31日現在、郡山せいわ園ホームページにアクセスいただいた件数は200,265件で、前年度末より4,636件増えました。今後も各種情報発信をタイムリーに行なえるよう努めます。

## 5 予算経理について

予算の執行については、限りある予算を厳密に検討し、効率的な運用に努めました。

## 6 郡山せいわ園 多目的ホール等増築工事について

郡山市の補助事業にて多目的ホールが完成し、令和4年8月30日に引き渡しを受けました。新型コロナウイルス感染症等の予防のために3密回避を実施しながら、多目的ホール作業室では班別活動で取り組む内部作業(リースボックス作業等)を、ホットルームや談話室、リハビリ室では各種クラブ活動等を行なう事ができました。次年度も各種感染症予防に取り組みながら、内部作業やクラブ活動、調理訓練、交流活動等の各種活動を活発に行なえるよう、多目的ホールを活用して参ります。

## 7 月別利用状況

(単位：名)

定員：80人	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
郡山 せいわ園	85	85	85	85	86	86	85	87	87	86	86	86	86
男女比	42:43	42:43	42:43	42:43	43:43	42:44	41:44	43:44	43:44	42:44	42:44	42:44	42:44

令和5年3月31日現在

# 令和4年度 保護施設通所事業 事業報告

## 1 事業内容

郡山せいわ園への通所による生活支援・生活訓練等の実施（通所訓練）と職員の居宅等へ訪問による生活支援の実施（訪問支援）を一体的に行い、男性3名、女性6名に利用していただき、安定した地域生活が送れるよう支援しました。

### (1) 通所訓練

#### ① 生活相談支援ならびに作業訓練支援について

安心して地域生活を送るために、利用者の方に寄り添って問題を解決出来るように支援し、困りごとや不安な事についての相談を受けました。また、リースボックスの組み立て・袋詰め作業等を行い責任感を持って仕事に取り組んでいただける様に支援しました。その中で、作業に消極的な方や作業の順番を守れない方も見受けられたため、今後は作業時の約束事を守り、意欲的に取り組んでもらえるように支援していきます。

#### ② 健康に関する支援ならびに食事サービス支援について

郡山せいわ園の看護師と連携をはかり、通院支援や健康管理を行うとともに、体力トレーニングを行ない体力の維持向上に努めました。また、健康を考えた栄養バランスの良い食事の提供と助言をしました。感染症予防の面から調理支援を行う事ができませんでしたが、次年度は環境や参加人数を工夫して、調理支援を開けるように努めていきます。

#### ③ 外出支援ならびに学習支援について

外出支援については、新型コロナウイルス感染症予防の面から、買い物や公共交通機関の利用を控えたため、行うことができませんでした。学習支援ではお金の計算や字の読み書き、時計の見方等、地域で生活する上で必要な知識の学習を行いました。外出支援ができなかった分、個々の能力に合った学習に時間を使うことができました。

### (2) 訪問支援

#### ① 生活支援について

清潔で安全な生活ができるように、衛生・環境の整備や身だしなみの支援等、生活全般についての助言・援助を行いました。生活面の日課で職員の支援が必要な方が多いため、今後、自主的に日課等に取り組んでいただけるようにしていきます。

#### ② 相談支援について

地域で安心して生活できるようにするために、個人面談を行い生活面での困りごとや、悩んでいることについて助言や相談支援をしました。同居するメンバーの方の行動に対する不満や、要望が多く聞かれたため、互いに他者を思いやった行動くができるように支援を行ないました。

# 令和4年度 保護施設一時入所事業 事業報告

## 1 事業内容

本事業の実施にあたっては、施設を短期間ご利用いただくことで、精神状態の安定を目指した支援を行い、居宅生活の継続、退院から居宅生活へのステップ、あるいは体験利用による施設生活から居宅生活へのステップへとつなぎました。

今年度は、男性1名・女性1名、計2名の利用がありました。

### (1) 日常生活支援

体調の回復と栄養バランスを考慮した食事の提供に努めました。また、入浴や衣類交換等の支援を通して、清潔で健康な生活が送れるように努めました。

### (2) 健康への支援

一日3回の検温、必要時の服薬・通院支援を行ない健康管理に努めました。

### (3) 他利用者の方とのコミュニケーション

よりよい人間関係が築いていけるように、必要に応じて他利用者の方との関わりについて支援しました。

## 2 健全な管理・運営

的確な支援が出来るように、支援方法等について措置機関の各福祉事務所と連携を図り、職員間で情報を共有し対応を行ないました。

※令和4年度に一時入所事業を利用された方は次の通りです。

性別	年齢	期間	措置機関
女性	67歳	令和4年7月14日～令和4年7月31日（18日間）	郡山市
男性	71歳	令和5年3月1日～令和5年3月31日（31日間）	郡山市

以上2名の方にご利用いただきました。

## 令和4年度 グループホーム「みんなのいえ」事業報告

グループホーム「みんなのいえ」を利用されているお客様が、地域社会において、円滑に潤いある自立した生活を送ることを目標に、次の諸事項を実施いたしました。

### 1 お客様の相談支援について

お客様の日常生活において、サービス管理責任者を中心に、生活全般に関する相談支援を行いました。また、バックアップ施設の郡山せいわ園による苦情解決システムも活用して連携を図り、迅速な対応に努めました。

### 2 健康と食事の支援について

お客様の希望とバランスの取れた献立を予算内で作成し、世話人が一緒に調理を行い支援することで、生活習慣病予防や肥満の防止に努めました。また、毎日の健康を維持するために必要な事柄（1日4回の体温チェック・外傷の処置等）について、随時世話人と連携を図り、支援しました。また、新型コロナウイルスを含めた感染症予防として、うがいと手洗いの励行、外出時のマスクの着用と帰宅時の手指の消毒の徹底を図り、支援に努めました。その他、バックアップ施設である郡山せいわ園の管理栄養士・看護師と連携を図り、通院支援の他、年2回の健康診断やインフルエンザの予防接種などの支援も希望にて行い、健康な生活を送れるよう支援しました。

### 3 外出や外泊の支援について

新型コロナウイルス感染症等の感染予防対策として、お客様に必要な物品などについて希望を伺い、食材等の買い物なども合わせて職員が代行して対応するなど感染症予防を図りながら支援に努めました。また、バックアップ施設の郡山せいわ園とも連携を図り、感染症予防対策を徹底して外出等の機会について支援しました。

### 4 地域生活等の支援について

新型コロナウイルス感染症のため、町内会等の活動を通じて地域の皆さんと交流を図ることは難しい状況下の中で、個々の趣味等の幅を広げていただけるように情報提供を行い、コロナ禍においても充実した潤いのある社会生活が送れるように支援しました。

### 5 緊急時の対応について

お客様に安心・安全にご生活いただけるように、災害防止についての意識の向上を目指し、定期的な避難訓練及び防火設備の保守点検等に努めました。また、バックアップ施設の郡山せいわ園との連携を強化し、病気や災害等の緊急時には迅速に対応できるよう、連

絡体制等を明確に整備し支援しました。

#### 6 バックアップ施設との連絡調整について

お客様お一人おひとりに合った個別支援計画に基づき、生きがいや希望を持ってご生活いただけるよう支援しました。また、日中通所している郡山せいわ園と連携を密に図り、地域生活の継続が図れるように個別支援計画を踏まえた統一した支援に努めました。

#### 7 財産等の日常生活に必要な援助について

財産等については入居時にお客様の意向をふまえ、財産等を委託される場合には原則的にサービス管理責任者が担当するようにし、その適切な管理に努めました。お客様の収支については承諾を得て銀行手続き等を必要時に代行し、適正な支援を行いました。またその他の必要な手続き等も同様に、隨時行いました。

#### 8 職員の資質の向上について

研修会等に積極的に参加し、お客様により良い支援を提供できるよう、資質の向上に努めました。

名 称	定 員	利 用 人 数
みんなのいえ	4 名	4 名
みんなのいえ久保田	5 名	3 名
みんなのいえ陣場	3 名	2 名

令和5年3月31日 現在

## 令和4年度 希望ヶ丘ホーム 事業報告

当施設は、“利用者本位のサービスの提供”と“信頼される施設づくり”をテーマに次の諸事項を通して、利用者の皆さん及び地域の皆さんに“しあわせ・よろこび・満足”そして“安心・安全・信頼”をいただける施設を目指し、鋭意努力してまいりました。

### ★ 重点事項 ★

#### 1 毎日を心豊かに自分らしくすごすために

- (1) 利用者の皆さんの身体状況やニーズに応じ、介護サービスの打ち合わせを月1回実施し、個別支援計画を定期的に見直し、必要に応じて適切な介護サービスを速やかに提供し、各職種間で連絡・調整・共有を図り支援しました。
- (2) 利用者の皆さんのが参加するクラブ活動や各種行事、レクリエーション等の充実を図り、「自分らしくいきいきと」をモットーに、生きがいの持てる、明るく楽しい生活が送れるよう支援しました。班別活動を活性化し、利用者の皆さんの余暇時間の充実を図り、またADLの維持や認知症予防に繋げ、楽しく元気に生活されるよう支援しました。
- (3) 利用者の皆さんの自治会活動をより活性化し、利用者相互の親睦を図るとともに、利用者主体のよりよい生活づくりのために自律を促す取り組みをし、豊かで潤いのある生活が送れるよう支援しました。特に、今年度は利用者の皆さんのが機関誌を作成し、施設の出来事などを取り上げていただきました。
- (4) 利用者の皆さんに各種委員会に参加していただき、皆さんのニーズを把握しサービスに反映させ支援しました。
- (5) 虐待等の権利侵害防止と早期発見のために、職員の意識を高め常に利用者の皆さんの人格や権利を尊重し、安心・安全・安寧に生活が送れるよう支援しました。  
また、虐待防止の研修会を3ヶ月に1回開催し、利用者本位のサービスを提供するとともに毎月職員会でセルフチェックを実施し、支援の振り返りを行いました。

\*令和4年度に実施した行事は次の通りです。

- 4月 ・さくらまつり
- 5月 ・端午の節句
- 6月 ・ファッションショー
- 7月 ・七夕
- 8月 ・スイカ割り  
・納涼祭
- 9月 ・第43回敬老の日おたよりコンクール作品贈呈  
・敬老祝賀会  
・十五夜
- 10月 ・(社)郡山市シルバー人材センターさんの園庭植木の剪定ご慰問
- 11月 ・もみじまつり

- ・ファッションショー
- 12月・ゆず湯
- ・クリスマス・忘年会
- 1月　・新年会
- ・団子ならし
- 2月　・節分
- 3月　・ひなまつり
- ・うめまつり

\*新型コロナウイルス感染症予防の為、施設内行事を中心に行ない、3密を防ぐため実施時はグループ分けを行ない、少人数で実施しました。

## 2 健康にすごすために

- (1) 利用者の皆さんに“健康にすごすことの大切さ”を理解していただき、その方らしく日常生活が送れるよう定期的（5月、10月）に健康診査等の充実を図り、嘱託医と連携して健康管理に努めました。
- (2) 専門職（看護師、理学療法士等）による口腔体操や歩行訓練等のリハビリに努め、利用者の皆さんのが健康的に生活できるよう支援しました。利用者の皆さんとの様々な症状に対応するために、対応マニュアルを作成し、適切な対応が出来るように周知徹底を図りました。
- (3) 利用者の皆さんとの体調面や精神面の変化等に応じ、行政機関や家族等との連携を密に図り情報の共有に努めました。
- (4) 感染症マニュアルを見直し、全職員で感染症予防に最大限努め、実践し、安心・安全にご生活いただける環境作りに努めました。また、新型コロナウイルス感染症発生時に、迅速に対応するために定期的に研修会を実施し、職員への周知徹底を図りました。
- (5) 肥満気味の方には、毎日体重測定を実施し、看護師・管理栄養士と連携して体重管理に努めました。

## 3 おいしく、楽しく食事をするために

- (1) 安心しておいしい食事をしていただくために、衛生管理の徹底や食中毒防止に努めました。
- (2) 利用者の皆さんとの身体状況に合った食事を隨時見直し、安全にお食事いただけるように努めました。
- (3) 満足度向上を目的とした嗜好調査を年2回実施し、結果を献立に反映しより良い食事サービスの提供に努めました。また、コロナ禍であってもバリエーションに富んだ献立作成に努め皆さんのが楽しみづくりに努めました。
- (4) 食事委員会に厨房職員も参加し、ご利用者の皆さんからのご意見やご感想を聞き、食事や栄養に関する情報を提供したり、食事への関心を高めていただくように努めました。
- (5) 令和4年7月～9月、令和5年1月～3月にビタミン飲料等を提供し、熱中症、感染症予防に努めました。
- (6) 感染症予防及び拡大防止対応のため、利用者の皆さんに2部制で食事を摂っていただくことを継続しました。密にならぬようスペースを確保したテーブルの配置や飛沫防止

アクリル板の設置、食堂内の衛生清掃等、感染予防を意識して継続して行ないました。

#### 4 家族および地域社会との交流のために

- (1) コロナ禍のため、リモート面会を希望されたご家族に交流を図れる様に努めました。
- (2) 広報誌やホームページ等を活用し、多くの方々に施設への理解・関心等を深めていただけるように努めました。また、施設の動画等を作成して、次世代を担う福祉専門職の育成や各種大学、専門学校等への働きかけに努めました。
- (3) 当施設入所希望の利用者の方と関係機関等（介護サービス事業所、医療機関等）と密に連携を図り、施設を理解していただくように努めました。

#### 5 安心してご生活いただくために

- (1) 利用者の皆さん的身体・生命の安全を最優先とし、非常時に備えた定期的な諸訓練（避難訓練・自衛消防操法等）を通じ、災害（事故）防止に努め、環境整備の強化を図りました。
- (2) 地域の中でのセーフティネット機能を有する施設として、令和4年度は2名の方を受け入れました。引き続き、様々な福祉ニーズを抱えた利用者の皆さんのが安心、安全、安寧に自分らしく生活出来るよう努めました。
- (3) 利用者の皆さんとともにKYT訓練（危険予知トレーニング）等を行い、転倒や交通事故、感染症や災害に対するリスク管理に取り組みました。
- (4) 毎月第1水曜日を環境整備の日とし、施設全体の環境美化、衛生管理に努めました。
- (5) 災害発生時における業務継続計画（BCP）を作成し、正確な情報集約と判断が出来る体制を構築し、業務の優先順位の整理、計画を実行出来るよう普段からの周知、訓練、研修に努めました。また、各協力機関との連携を明確にし、速やかな連絡体制の構築に努めました。

#### 6 利用者の皆さん・地域社会から信頼される施設を目指して

- (1) 福祉サービスの質の向上について  
「お客様に満足を 仕事に喜びを」のテーマのもと、虐待防止委員会や改善委員会等、活発な各種委員会活動を通して、コロナ禍でも、最大限の工夫をし、福祉サービスの質の向上に努めました。
- (2) 外部サービス型特定施設入居者生活介護事業の充実を図るために、毎月1回介護サービス会議を実施し、介護サービスの見直しを図り、質の高い介護サービスの提供に努めました。
- (3) 要支援・要介護状態の利用者の皆さんの多様なニーズに応えるために各サービス事業所と密に連携を図り、利用者の皆さんへの質の高いサービス提供に努めました。
- (4) 地区民生児童委員や各高齢者あんしんセンター、地域の老人クラブや消防団、各医療機関等との連携を図り、地域の福祉ニーズの把握に努め、サービス提供に努めました。

#### 7 生活困窮者等の支援推進と社会貢献

（セーフティネット機能強化事業・中間的就労支援事業）

- (1) にこやかサロン設置及び運営について

福島県様ならびに全国救護施設協議会様よりの助成にて、地域社会の中でひきこもりや

何らかの支援を必要とする方々に対し、安心して参加できる居場所づくりを目指しました。参加者の2名の方は引き続き就労されながら、にこやかサロンに参加されています。また、民生委員等の地域協力者の方々との連絡会や関係機関との情報交換を通して、より一層地域のニーズに応えていけるよう努めました。

#### (2) 中間的就労支援の充実について

生活困窮者等に対し、施設が中間的就労等の機会を提供し、就労に必要な知識及び能力の向上を目指してきましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症予防のため実施できませんでした。今後は、感染状況をふまえて実施を検討いたします。

### 8 将来を担う職員の育成について

- (1) キャリアパス制度※1 を運用し、法人施設の将来を担う活力ある職員の育成に努めるとともに、職員一人ひとりが個人の特性を活かし、さらに意欲をもって邁進できる環境作りに努めました。
- (2) ジェントルティーチング※2・福祉QCサークル活動を積極的に推進しました。また、法人内の「福祉QC」発表大会、「福祉QC」全国発表大会や、日本科学技術連盟主催のQCサークル大会等に積極的に参加し、更なる向上を目指しました。

\*令和4年度 ひまわりサークルの活動は以下の通りです。

①令和4年5月12~13日

第6360回 QCサークル全国大会（小集団改善活動）

特別企画『JHS（医療・福祉部門）改善事例チャレンジ大会』

（主催：QCサークル本部・一般財団法人日本科学技術連盟）

会場：北海道 札幌市 札幌コンベンションセンター

テーマ：「理想のわたしに変身!! | おしゃれを楽しもう～」で審査委員特別賞を受賞しました。

②令和4年7月15日

第6380回 QCサークル東北支部総合大会 地区推薦部（主催：QCサークル東北支部）

会場：宮城県 仙台市 福祉プラザふれあいホール

テーマ：「パンパン足よスリムにな～れ ～がんばって運動しましょう～」で

優良賞を受賞しました。

③令和4年11月29日

第32回『福祉QC』全国発表大会（主催：日本福祉施設士会）

会場：東京都千代田区 全国社会福祉協議会 5階会議室

テーマ：「気分ウキウキショッピング～コロナ禍の買い物支援を見直そう～」で

優秀賞を受賞しました。

④令和5年2月13日

第6433回QCサークル東海支部 総合・交流会「交流の場」（主催：QCサークル東海支部）

会場：愛知県 愛三文化会館

テーマ：「理想のわたしに変身!!おしゃれを楽しもう～」特別賞を受賞しました。

- (3) 職員の専門性をより高めるために、職員の国家資格等（社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、介護支援専門員等）の取得を支援・奨励すると共に、全国老人福祉施設大会や研究会議への参加、また東北ブロック老人福祉施設協議会養護老人ホーム研修会および、福島県社会福祉協議会研修センター主催の各種研修会にオンライン等で参加させ、その研鑽に努めました。
- (4) OJT・Off-JTの活性化を図るとともに、専門的な知識や技術と豊かな人間性を備えた質の高い福祉人材の育成に努め、各個人のキャリアデザインを支援しました。
- (5) 法人組織内にサービス管理室、福祉QC推進室、トータルプランチーム、リスクマネジメントチームを設け、職員一人ひとりの資質の向上に努め、さらなるサービスの質の向上と今後の法人の発展を目指しました。
- (6) 地域社会の福祉ニーズを踏まえ、地域福祉推進の一翼を担い貢献できる人材の育成に努めました
- (7) ホームページ等による情報提供及び事業紹介に努め、施設の活動内容等を発信し、地域社会の多くの方々に希望ヶ丘ホームを理解いただくように努めました。3月31日現在、希望ヶ丘ホームのホームページにアクセスいただいた件数は44,450件で、前年度末より2,073件増えました。今後も各種情報発信をタイムリーに行なえるよう努めます。

#### ※1 キャリアパス制度とは

職員一人ひとりが希望と誇り、使命感を持って働き続けることが出来るように、職員の能力・資格・経験に応じた職位、階層等を定めるもの。また、キャリアパス制度を運用することにより、働きやすく働きがいのある職場になることで、質の高いサービスが提供でき、お客様ならびに職員が笑顔になることができる制度。

#### ※2 ジェントルティーチングとは

ジェントルとは、やさしさや、穏やかなという意味、ティーチングとは、教える、伝えるという意味です。人間は、日常の生活を通してほのぼのとした思いや、やさしい記憶などの良い経験を積み重ねていく事で、ジェントルティーチングの4つの柱“安心と安全”・“人間的な関わりを持つこと”・“信頼されていること”・“信頼すること”をもとに「よりよい人間関係」を築いていく事ができるという考え方です。

## 9 予算経理について

予算経理の執行にあたっては、限りある予算を厳密に検討し、効率的な運用に努めました。

## 10 トイレ改修について

福島県共同募金会様の配分金にて、トイレ改修をさせていただきました。トイレの段差も解消され、室内も明るく利用者の皆さんも安全にご利用できるようになりました。

## 11 月別利用状況

(単位 : 名)

定員 74名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
養護老人 ホーム	73	73	73	74	73	74	74	74	74	74	74	74	74
男:女 比	22:51	22:51	23:50	24:50	24:49	24:50	24:50	23:51	23:51	23:51	23:51	23:51	23:51

令和5年3月31日現在

# 令和4年度 希望ヶ丘訪問介護事業所 事業報告

希望ヶ丘ホームの利用者の方をはじめとして地域社会の介護を必要としている方々にきめの細かい介護サービスの提供を目指しました。

## ☆重点事項☆

要介護状態又は要支援状態にあるお客様に対して、多様なニーズに応じ介護保険制度上の適切な訪問介護サービスを提供し、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続できるよう「自立支援」と「生活の質の向上」を念頭に職員が一丸となって支援しました。

### 1 在宅福祉の充実と、地域に密着した介護サービスの提供

- (1) 地域の介護保険情勢やニーズの把握に努め、お客様へよりよい介護サービスの提供に繋げるために、関係市町村・地域包括支援センター・地域の保健医療福祉サービス等と密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。
- (2) 毎月1回多職種との介護サービス会議を実施し、サービスの充実と質の高いサービス提供を目指し支援しました。

### 2 介護サービス提供と向上

- (1) お客様のニーズやアセスメントに基づいた計画書を作成し、計画に沿ったサービス提供を行いました。
- (2) 身体介護サービスの提供にあたり、より安全かつ快適な介護サービスを提供するためには、定期的な業務マニュアルの見直し及び業務改善を図りました。日々利用者の方の身体状況は変化していく為、これからも随時対応していきます。
- (3) 提供する介護サービスの評価やリスク等の分析等々を行い、質の高い介護サービスの提供に努めました。
- (4) 職員会議等や月に一度のモニタリングを通して、お客様のニーズ把握に努め職員間の情報共有を図りました。

### 3 健全な事業所運営をするために

- (1) 介護サービスの質の向上を目指すために  
利用者の方からの苦情を解決するシステムやリスクマネジメントの取り組みを行い、サービスの質の向上に努めました。また、職員自身を振り返る機会として、職員のサービス評価を実施しました。  
これらを有機的に活用し、より質の高い介護サービスを継続的に提供できる仕組み作り、「問題後追い解決」から「課題先取り」ができるように努めました。

(2) 職員の資質の向上を目指すために

昨年に引き続き、新型コロナウィルス感染症予防の為、リモート研修や内部での勉強会の充実を図りました。特に感染症についての勉強会に力を入れ、ゾーニングやガウンテクニックについて定期的に見直しました。

#### 4 月別利用状況

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
希望ヶ丘 訪問介護 事業所	23	22	22	22	23	23	23	22	22	22	21	21	22

令和5年3月31日現在

## 令和4年度 きらきらげんき保育園 事業報告

当保育園は、保育を必要とするお子さまの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設であり、入園するお子さまの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場になるよう努力いたしました。また、今年度も、新型コロナウイルス感染症予防対策の強化を図り、安心・安全な保育を進めていけるよう努めました。

### ☆重点事項☆

- 1 保育に関する専門性を有する職員が家庭との緊密な連携の下にお子さまの状況や発達過程を踏まえ養護を一体的に行えるよう努めました。
- 2 お子さまの属する家庭や地域との様々な社会との連携を図りながら、保護者に対する支援及び地域の子育て、家庭に対する支援等に努めました。
- 3 連携施設と協力し、新型コロナウイルス感染症等の情報を共有しながら、お子さま及び保護者に対する支援等に努めました。
- 4 保育時間について  
通常保育の時間は、7時30分～18時30分までとし、延長保育(18時30分～19時30分)は、満1歳以上のお子さまを対象に保護者の勤務状況等により事前の申請でご利用いただきました。
- 5 送迎について  
送迎は保護者の皆様にお願いし、保護者以外の方の送迎の場合は、必ず保育園へ事前に連絡を入れていただくようお伝えしました。連絡がなく、確認が取れないときは、お子さまを安易に引き渡すことなく、職員全員に周知し対応しました。
- 6 個別懇談について  
今年度は、保護者の方にお子様の様子について事前に希望・要望等を書面にてお伺いし、その内容をもとに新型コロナウイルス感染症予防に努めながら、短時間での個別懇談を行いました。また、ご家庭や保育園でのお子さまの成長や様子を共有し、よりよい保育が提供できるよう努めました。

## 7 健康診断について

- (1) 嘴託医による内科・歯科の健康診断を、6月・10月に実施しました。
- (2) 発育測定を毎月行い、健康カードで測定の記録をお知らせしました。

## 8 感染症について

感染症にかかった場合、出席停止期間または医師が登園しても差し支えないと認めるまで、保育することができないため、感染症が疑われる際には、病院を受診し保育園へ預けられるかを確認して登園するように保護者に周知徹底いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症等の予防のため、お子さまにはこまめな手洗い・消毒・検温等の声かけを行うとともに、保護者の皆様にも消毒・検温をお願いしました。職員に対しては、手洗いなどの対策に加え、環境衛生(玩具、床、手すり等の定期消毒等)の実施を徹底する等予防対策に努めました。

## 9 食育(給食)について

- (1) 必要な栄養を摂取するとともにお子さまのからだや心の成長・発育・健康の保持増進のために、楽しい雰囲気の中で望ましい食習慣や栄養・衛生についての知識を身につけることを目的に、0歳児の月齢別の離乳食や1、2歳児の食事については個々に合わせて準備しました。
- (2) 食物アレルギー等のあるお子さまには、かかりつけ医の指示に基づき、成長に合わせたアレルギー除去食等を準備し、細やかな対応に努めました。
- (3) 「食」の大切さについて理解を深めていくよう、プランターで季節の野菜(さつまいも、なす等)を育て、育てることの大切さ、収穫することの喜び等体験できるように努めました。今後もお子さまが様々な経験を通して成長できるよう計画をしていきます。

## 10 緊急時の対応について

お子さまに病状急変等の緊急事態が発生した場合には、緊急時マニュアルをもとに保護者の指定する医療機関及び緊急連絡先等へ速やかに連絡をおこなうよう努めました。

## 11 個人情報について

業務上知り得たお子さまおよび家族に関する情報については正当な理由がない限り第三者に漏らすことのないよう職員全員で周知徹底いたしました。関係機関へ情報提供をするにあたっては、個人情報使用同意書を提出いただいたうえで提供させていただきました。

## 1 2 地域社会との連携について

- (1) 地区民生児童委員等と連携を図り、地域ニーズの把握に努めました。
- (2) 近隣の社会福祉施設(郡山市更生園、希望ヶ丘学園、希望ヶ丘保育所、郡山市希望ヶ丘児童センター及び養護老人ホーム 希望ヶ丘ホーム)と、電話連絡等を通して、連携の強化に努めました。

## 1 3 職員の資質向上及び人材育成について

- (1) 福島県保育士等キャリアアップ研修等に職員が参加しました。また、職場内研修も活用し、職員一人ひとりが保育実践や保育の内容に関する共通理解を深め専門的な知識・技術の習得に努めました。
- (2) ホームページ等にて、保育園の活動内容等を発信し、地域社会の多くの方々へきらきらげんき保育園を理解いただくよう努めました。今後も、小規模保育園の良さや活動等をタイムリーに発信できるよう努めていきます。

## 1 4 予算経理について

予算経理の執行にあたっては、限りある予算を厳密に検討し、効率的な運用に努めました。

## 1 5 令和4年度 月別園児数

(単位：名)

クラス名	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
パンダ(0歳)	6	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6
ウサギ(1歳)	6	8	8	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8
コアラ(2歳)	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
合計	19	19	19	18	18	20	20	20	20	20	20	20	20	20

令和5年3月31日現在

\*実施した主な行事は次の通りです。

月	行 事
4月	入園式、お花見
5月	端午の節句、保護者個別懇談会
6月	内科・歯科健診
7月	七夕会、水遊び
8月	夏まつり
9月	敬老祝賀会、お月見会、総合防災訓練
10月	内科・歯科健診、ハロウィン
11月	七五三
12月	お遊戯会、クリスマス会
1月	子ども新年会、だんごさし
2月	節分、交通安全教室
3月	ひなまつり、お別れ会、卒園式

※他に、誕生会・避難訓練・発育測定・安全指導を毎月実施しました。

※各種行事については、新型コロナウイルス感染症予防対応のため、令和4年度  
当初の予定を変更し、中止または縮小しての実施とさせていただきました。  
次年度は感染症予防対策に十分に取り組んだ上で、お子さまが楽しめる行事等  
を企画し実施していきます。